

くらし安全通信

Vol. **80**
令和2年2月発行

ホームページ

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/f5g/an/an/index.html>

ツイッター

https://twitter.com/kurashi_anzen



目次

- ★ 年末年始 安全・安心キャンペーン
- ★ 交通安全功労者表彰式(2面)
- ★ 新入学児童・園児を交通事故から守る運動(2面)
- ★ 神奈川県自転車等の安全で適正な利用の促進に関する条例(2面)
- ★ 昨年の身近な犯罪と交通事故死者数(2面)
- ★ 犯罪被害者支援(3面)
- ★ 特殊詐欺(3面)
- ★ 【地域活動状況】湘南台地区防犯協会(4面)
- ★ 安全・安心まちづくり交流集会、セーフティかながわユースカレッジ研修会(4面)

神奈川県くらし安全防災局くらし安全部くらし安全交通課 ☎ 045-210-1111(内線3521) FAX 045-210-8953

年末年始 安全・安心キャンペーン

令和元年12月20日(金)新都市プラザ



県知事、県警本部長とともに年末年始特別警戒中の女優・葵わかなさんが一日戸部警察署長として新都市プラザに登場！

警察官や防犯ボランティアの皆さんを激励しました。

葵署長は、特殊詐欺の撃退に効果的な迷惑電話防止機能を有する機器の性能を確認し、同機器の活用を呼び掛けていました。

ステージでは、横浜アイドル「ポニカロード」さんのミニライブや県警音楽隊のコンサートも開催。

会場周辺では、防犯協力団体による防犯ブースの展示、啓発品の配布が行われ、楽しみながら年末年始の安全・安心について考えてもらえるよう呼び掛けていました。



令和元年度 交通安全功労者表彰式 11月21日(木) 県立音楽堂

神奈川県、神奈川県公安委員会、神奈川県警察、公益財団法人神奈川県交通安全協会、一般社団法人神奈川県安全運転管理者会連合会が合同で表彰式を行いました。

多年にわたり、地域や職場で交通安全と交通事故防止にご尽力いただいた 1,251人と249団体の方々が表彰されました。



| | | |
|-------------------------------|------|------|
| 県知事表彰 | 54人 | 21団体 |
| 県公安委員会表彰 | 10人 | 10団体 |
| 県警察本部長表彰 | 222人 | 25団体 |
| 県警察本部長並びに(公財)県交通安全協会会長表彰 | 267人 | |
| (公財)県交通安全協会会長表彰 | 461人 | 37団体 |
| 県警察本部長並びに(一社)県安全運転管理者会連合会会長表彰 | 82人 | 66団体 |
| (一社)県安全運転管理者会連合会会長表彰 | 155人 | 90団体 |

春の全国交通安全運動 令和2年4月6日(月)～4月15日(水)

新入学児童・園児を交通事故から守ろう!

子どもは、急な飛び出しなど、思いがけない行動をとることがあります。

新入学児童や園児が街を歩き始めるこの時期は、小さいお子さんを見かけたら、スピードを落とすなど、細心の注意と思いやりのある運転を心がけましょう。

令和元年中県内交通事故発生状況

令和元年中の県内における交通事故は、年間死者数が132人で、前年より30人減少し、統計が残る昭和23年以降で最も少ない結果となりました。発生件数及び負傷者数も前年より減少し、平成以降の31年間で最も少ない結果となりました。

死者数のうち、65歳以上の高齢者は51人(前年比-16人)で、およそ4割を占めています。特に、歩行中は33人(前年比-5人)と最も多く、横断歩道以外を横断中の高齢者が事故に遭い亡くなるケースが増えています。交差点での信号無視や、横断歩道のない場所を無理に横断すると大変危険ですから絶対にやめましょう!

神奈川県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例



自転車の安全で適正な利用の促進と自転車損害賠償責任保険等の加入義務化を柱とした条例が施行されました。詳しくは下記のQRコードから確認して下さい。



昨年(令和元年)の身近な犯罪と交通事故死者数

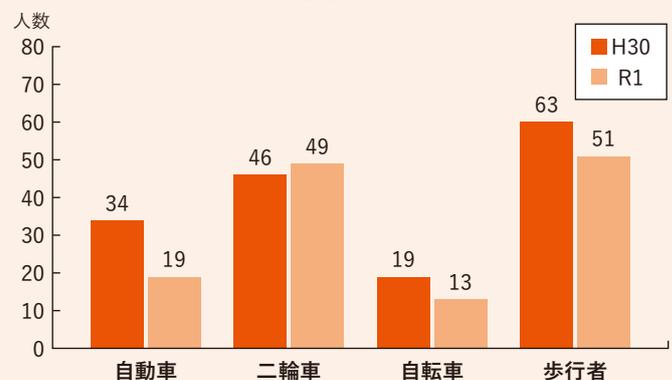
H30/R1(暫定値)身近な犯罪発生件数(認知件数)



令和元年中の県内刑法犯認知件数は、約42,000件で、平成30年と比較すると約10.7%減少しましたが、特殊詐欺は前年に引き続き過去最悪を更新しました。

特殊詐欺は意識することで防ぐことができます。迷惑電話防止機能を有する機器に変更し、特殊詐欺を撃退しましょう。

H30/R1 交通事故による死者数



交通事故死者数は132人で、統計史上最も少ない結果となりました。

交通事故発生件数と負傷者数は、平成以降の31年間で最も少ない結果となりました。

状態別死者数の内訳で最も多いのは、歩行者の51人で、死者数全体の38.6%を占めています。

かながわ犯罪被害者サポートステーション

～ご相談に応じ、支援を行っています～

ある日突然、犯罪や事故に巻き込まれてしまうことは、誰にでも起こりえます。

神奈川県、神奈川県警察、特定非営利活動法人神奈川被害者支援センターの3者で連携をとり、殺人、傷害、性犯罪など、犯罪による被害を受け、苦しんでいる被害者やそのご家族の方からのご相談を受け、必要な助言や情報提供等を行うほか、様々な支援を行っています。

お話をお伺いしたうえで、どうしたらよいか、一緒に考えます。
ひとりで悩まず、まずはご相談ください。



犯罪被害者等支援
シンボルマーク
「ギゅっとちゃん」

* 相談電話 **045-311-4727**

* 月曜日から土曜日 9:00～17:00
(祝日・年末年始を除く)

詳しくは、

犯罪被害者サポートステーション

検索



特殊詐欺被害防止に有効!!

～特殊詐欺被害ゼロを目指して～

迷惑電話防止機能を有する機器への変更をご検討ください!

迷惑電話防止機能を有する機器とは?

犯人からのアポ電に対し、電話が鳴る前に「この通話を録音します」等と相手に警告を行うとともに、通話内容を録音するなど犯人が最も嫌う機能等を有する機器です。

※現在お持ちの固定電話機に取付けるタイプの機器もあります。



キャッシュカード
わたさない!!
暗証番号
おしえない!!

警察官・銀行協会等を名乗り、キャッシュカードを封筒に入れさせ、すり替える手口が増えています!



■団体の概要

この湘南台地区防犯協会は6名のメンバーで構成し、地域内33自治会の防犯部長と6名の防犯指導員が中心に活動しています。また、約290名で構成される「うちゅう家族まもり隊」は、日々のパトロールを行っています。

■防犯活動の紹介

湘南台のシンボルである文化センターの地球儀を由来として名付けられた「うちゅう家族まもり隊」は、地球隊、火星隊、水星隊など惑星の名前の付いた7つの隊で構成され、毎日どこかの隊がパトロールをしています。また、小学生の下校時に痴漢が発生したことから、老人会に依頼してパトロールを行っています。

パトロールは、テレビにも出演されることが多い立正大学の小宮信夫教授から指導を受けた『犯行を考えている人に犯罪の機会を与えないという考え方の「犯罪機会論」』を参考にして行っています。特に「入りやすく見えにくい場所」をポイントとしたホットスポットパトロールの手法を参考にして活動しています。

■湘南台とは

会長 岩崎 忠雄

湘南台は藤沢市北部に位置し小田急線、相鉄線、横浜市営地下鉄線が乗り入れている交通拠点です。ベッドタウンでもありますが、この駅を利用する県立高校が2校、大学も3校あり、16,000世帯が暮らす若い世代の地域です。



次世代を担う若者世代とベテラン世代が交流し、 これからの自主防犯活動を一緒に考えました！

令和元年12月23日（月） かながわ県民センター

「安全・安心まちづくり交流集会」と「セーフティかながわユースカレッジ研修会」を初めて合同開催しました。安全インストラクター武田信彦先生による講話「高めよう防犯力！ 広げよう見守りの輪！～世代を超えて防犯チームワークを築くために～」や3団体による防犯活動事例発表、意見交換会が行われました。

詳しくは、県ホームページをご覧ください。

